

業績目録（平成 29 年）

講座名 小児外科学

A-b 和文著書

- 1) 田尻達郎：第 22 章小児腫瘍 B 神経芽腫. 標準小児外科学第 7 版 医学書院, 東京 : pp328-334, 2017.
- 2) 田尻達郎：第 22 章小児腫瘍 G 悪性リンパ腫. 標準小児外科学第 7 版 医学書院, 東京 : pp359-360, 2017.
- 3) 田尻達郎：第 22 章小児腫瘍 I その他の良性腫瘍. 標準小児外科学第 7 版 医学書院, 東京 : pp366-367, 2017.
- 4) 青井重善：先天性難治性稀少泌尿生殖器疾患群（総排泄腔遺残，総排泄腔外反，MRKH 症候群）におけるスムーズな成人期医療移行のための分類・診断・治療ガイドライン
メディカルビュー社，東京：2017.
- 5) 田尻達郎：術前化学療法の影響とリスク評価. スタンダード小児がん手術 臓器別アプローチと手技のポイント メジカルビュー社，東京：pp11-14, 2017.
- 6) 文野誠久：生検手技の基本. スタンダード小児がん手術 臓器別アプローチと手技のポイント メジカルビュー社，東京：pp26-29, 2017.
- 7) 文野誠久，田尻達郎：【小児科ケースカンファレンス】VIII. 血液，腫瘍 固形腫瘍（神経芽腫）. 小児科診療 80 巻増刊 診断と治療社，東京：pp305-308, 2017.

B-b 和文総説

- 1) 七野浩之，山中純子，瓜生英子，田中瑞恵，吉本優里，松井基浩，文野誠久，菱木知郎，土井 崇，谷ヶ崎博，副島俊典，浅妻 伴，大野 孝，野澤久美子，宮崎 治，堤 義之，米田光宏，松本公一，佐藤典子：ベトナムの小児がん医療に対する国際医療支援の経緯と概要. 映像情報メディカル，49：56-61, 2017.
- 2) 青井重善，古川泰三，田尻達郎：【小児外来必携 お子さまの病気を専門医がわかりやすく説明します（Ⅱ）】鼠径ヘルニア：生後 2 ヶ月のとき，鼠径ヘルニアの診断で，1 歳になったら手術といわれていたのですが，その後ふくれなくなりました. 小児外科，49：78-80, 2017.
- 3) 若尾純子，文野誠久，田尻達郎：【小児外科領域の先端的医療の展開：再生医療の最前線】横隔膜の再生治療. 小児外科，49：465-469, 2017.

C-a 英文原著

- 1) Wakao J, Kishida T, Fumino S, Kimura K, Yamamoto K, Kotani S, Mizushima K, Naito Y, Yoshikawa T, Tajiri T, Mazda O: Efficient direct conversion of human

fibroblasts into myogenic lineage induced by co-transduction with MYCL and MYOD1. *Biochem Biophys Res Commun*, 488: 368-373, 2017. (IF=2.559)

- 2) Fumino S, Sakai K, Higashi M, Aoi S, Furukawa T, Yamagishi M, Inoue M, Iehara T, Hosoi H, Tajiri T: Advanced surgical strategy for giant mediastinal germ cell tumor in children. *J Pediatr Surg Case Rep*, 27: 51-55, 2017.
- 3) Furukawa T, Takeuchi Y, Tanaka T, Yoshimaru K, Taguchi T, Tajiri T: Localized isolated hypoganglionosis in an infant. *J Pediatr Surg Case Rep*, 28: 48-50, 2017.
- 4) Inoue M, Aoi S, Taniguchi A, Sakai K, Higashi M, Fumino S, Furukawa T, Tajiri T: Laparoscopic intraperitoneal onlay mesh for pediatric incisional hernia - a case report. *Surg Case Rep*, 3: 122, 2017.
- 5) Uryu K, Nishimura R, Kataoka K, Sato Y, Nakazawa A, Suzuki H, Yoshida K, Seki M, Hiwatari M, Isobe T, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Koh K, Hanada R, Oka A, Hayashi Y, Ohira M, Kamijo T, Nagase H, Takimoto T, Tajiri T, Nakagawara A, Ogawa S, Takita J: Identification of the genetic and clinical characteristics of neuroblastomas using genome-wide analysis. *Oncotarget*, 8: 107513-107529, 2017. (IF=5.168)
- 6) Li Y, Ohira M, Zhou Y, Xiong T, Luo W, Yang C, Li X, Gao Z, Zhou R, Nakamura Y, Kamijo T, Kaneko Y, Taketani T, Ueyama J, Tajiri T, Zhang H, Wang J, Yang H, Yin Y, Nakagawara A: Genomic analysis-integrated whole-exome sequencing of neuroblastomas identifies genetic mutations in axon guidance pathway. *Oncotarget*, 8: 56684-56697, 2017. (IF=5.168)

C-b 和文原著

- 1) 竹内雄毅, 古川泰三, 竹本正和, 文野誠久, 田尻達郎: 小児腭 solid-pseudopapillary neoplasm に対して腹腔鏡下脾温存腭体尾部切除術を施行した1例. *日小外会誌*, 53: 938-943, 2017.
- 2) 井上真帆, 青井重善, 谷口彰宏, 坂井宏平, 東 真弓, 文野誠久, 古川泰三, 田尻達郎: 回腸捻転を伴う続発性双極性大網捻転の1例. *日小外会誌*, 53: 1324-1327, 2017.
- 3) 田中智子, 文野誠久, 馬庭淳之介, 坂井宏平, 東 真弓, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎: 術前MRCPにて画像診断し得た重複胆管を伴った腭・胆管合流異常の1例. *日小外会誌*, 53: 1293-1297, 2017.
- 4) 青井重善, 古川泰三, 樋口恒司, 文野誠久, 坂井宏平, 東 真弓, 木村 修, 田尻達郎: 女兒低位鎖肛における cut back 手術後の再手術症例の検討. *日小外会誌*, 53: 1247-1251, 2017.

[IV] 学会発表

A) 国際学会

- 1) Fumino S, Sakai K, Higashi M, Aoi S, Furukawa T, Yamagishi M, Inoue M, Iehara T, Hosoi H, Tajiri T: Advanced Surgical Strategy for Giant Mediastinal Germ Cell Tumor in Children. 50th Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons, 2017 May 28-June 1; Seattle, USA.
- 2) Wakao J, Kishida T, Fumino S, Kimura K, Higashi M, Aoi S, Furukawa T, Mazda O, Tajiri T. The Direct Conversion of Human Fibroblasts Toward the Myogenic Cell Lineage: The implications of Diaphragmatic Regeneration. 50th Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons, 2017 May 28-June 1; Seattle, USA.
- 3) Tanaka T, Takeuchi Y, Higashi M, Fumino S, Iehara T, Hosoi H, Sakai T, Tajiri T. Immunohistochemical analysis of pre- and post-chemotherapeutic ERK phosphorylation in clinical neuroblastoma samples. 3rd Asia-Pacific International Symposium of Neuroblastoma, 2017 Oct 6; Tokyo, Japan.
- 4) Takeuchi Y, Tanaka T, Higashi M, Fumino S, Iehara T, Hosoi H, Sakai T, Tajiri T. Preclinical study of novel MEK inhibitors on neuroblastoma and the biomarker for their therapeutic effects in neuroblastoma xenograft mice. 3rd Asia-Pacific International Symposium of Neuroblastoma, 2017 Oct 6; Tokyo, Japan.
- 5) Fumino S, Sakai K, Higashi M, Aoi S, Furukawa T, Yamagishi M, Inoue M, Iehara T, Hosoi H, Tajiri T: Current surgical intervention for pediatric giant mediastinal germ cell tumors. 49th Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP), 2017 Oct 12-16; Washington DC, USA.

B) 特別講演, 招聘講演, 基調講演, 教育講演など

- 1) 坂井宏平: HRM (High Resolution Manometry) を用いた直腸肛門内圧測定の実験～Rapid pull through 法からの変遷～【ランチョンセミナー】. 第 47 回日本小児消化管機能研究会, 2017 年 2 月 11 日; 福岡.

C) シンポジウム, ワークショップ, パネルディスカッションなど

- 1) 田尻達郎: サブスペシャリティ領域としての小児外科学会の考え方【シンポジウム 2 小児外科専門医に何を求めるか?～新しい小児外科専門医制度の展望～】. 第 54 回日本小児外科学会学術集会, 2017 年 5 月 13 日; 仙台.
- 2) 文野誠久, 田尻達郎: 京都府立医科大学における小児外科専門医育成【シンポジウム 小児外科関連専門医制度と近畿地区における小児外科医育成】. 第 53 回日本小児外科近畿地方会, 2017 年 8 月 26 日; 京都.
- 3) 七野浩之, 山中純子, 瓜生英子, 田中瑞恵, 吉本優里, 松井基浩, 文野誠久, 菱木知郎, 土井 崇, 谷ヶ崎博, 長谷川大一郎, 副島俊典, 浅妻 伴, 大野 孝, 野澤久美子, 宮崎 浩, 堤 義之, 米田光宏, 松本公一, 佐藤典子: クラウド型遠隔画像診断システムと小児がんの国際医療支援【シンポジウム 小児がんの画像診断】. 第 59 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2017 年 11 月 9 日; 愛媛.
- 4) 文野誠久, 田尻達郎: リンパ管腫に対する非手術的治療としての OK-432 硬化療法の有

効性と集学的治療の中の位置づけ【パネルディスカッション 小児外科領域治療手術 vs 非手術リンパ管腫】. 第79回日本臨床外科学会総会, 2017年11月25日; 東京.

- 5) 文野誠久, 小野 滋, 田口智章, 田尻達郎: 仙尾部奇形腫診療ガイドライン作成の問題点【パネルディスカッション 小児外科領域の診療ガイドライン】. 第79回日本臨床外科学会総会, 2017年11月25日; 東京.

E 研究助成 (競争的研究助成金)

公的助成

代表 (総額)・小計 2,940 万円

- 1) 田尻達郎 (代表): 基盤 B (継続) 『神経芽腫に対する Engineered Stem Cell による新規細胞療法の開発』平成 27~30 年度 助成金額 1,250 万円
- 2) 田尻達郎 (代表): 萌芽 (継続) 『横隔膜全欠損に対する臍帯由来幹細胞を用いた横隔膜再生医療の開発』平成 27~29 年度 助成金額 280 万円
- 3) 古川泰三 (代表): 基盤 C (継続) 『中動物を用いた横隔膜全欠損型ヘルニアに対する胎児医療の開発』平成 27~29 年度 助成金額 370 万円
- 4) 文野誠久 (代表): 基盤 C (継続) 『難治性リンパ管腫に対する分子標的治療と光線力学療法を併用した新規低侵襲治療の開発』平成 28~30 年度 助成金額 350 万円
- 5) 東 真弓 (代表): 基盤 C (新規) 『神経芽腫に対する MEK 阻害剤の前臨床試験』平成 29~31 年度 助成金額 330 万円
- 6) 木村幸積 (代表): 基盤 C (新規) 『神経芽腫に対する間葉系幹細胞を用いた腫瘍選択性ドラッグデリバリーシステムの開発』平成 29~31 年度 助成金額 360 万円

分担・小計 1,800 万円

- 1) 田尻達郎 (分担): 基盤 A (継続) 『ヒルシュスプルング病および類縁疾患における乳歯幹細胞による病因解明と新規治療開発』平成 28-31 年度 助成金額 50 万円
- 2) 田尻達郎 (分担): 難治性疾患等克服研究事業『小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究』平成 29~32 年度 助成金額 90 万円
- 3) 田尻達郎 (分担): がん政策研究事業『小児期に発症する遺伝性腫瘍に対するがんゲノム医療体制実装のための研究』平成 29~31 年度 助成金額代表者一括計上
- 4) 田尻達郎 (分担): 革新的がん医療実用化研究事業『小児胎児性固形がんに対する標準的治療法開発』平成 29~31 年度 助成金額 861 万円
- 5) 田尻達郎 (分担): 革新的がん医療実用化研究事業『“新たな根治的粒子線治療を実現する吸収性スパーサーの適応拡大と実用化研究』平成 29~31 年度 助成金額 61 万円
- 6) 田尻達郎 古川泰三 (分担): 革新的がん医療実用化研究事業『難治性リンパ管異常に対するシロリムス療法確立のための研究』平成 28~32 年度 助成金額 703 万円
- 7) 古川泰三 (分担): 難治性疾患実用化研究事業『先天性横隔膜ヘルニアにおける最適な人工換気法・手術時期・手術方法に関する研究』平成 29~31 年度 助成金額 35 万円

財団等からの助成

代表（総額）・小計 300 万円

- 1) 文野誠久（代表）：認定 NPO 法人ゴールドリボン・ネットワーク平成 29 年度治療研究助成金『神経芽腫新規治療としての MEK 阻害薬の前臨床研究，およびその臨床応用へ向けたバイオマーカーの検討』平成 29 年度 助成金額 150 万円
- 2) 青井重善（代表）：地域未来づくり支援事業『小児外科希少疾患術後患児の移行期医療確立を目指す未来に向けた広域医療支援モデルの構築』平成 29 年度 助成金額 100 万円
- 3) 馬庭淳之介（代表）：若手育成支援費『マウス由来間葉系幹細胞を用いた神経芽腫へのドラッグデリバリーシステムの構築』平成 29 年度 助成金額 50 万円